



校訓 「誠 負けじ 学び」

茶小だより

与論町立茶花小学校
校長 段原 修司
TEL 97-2031
令和6年4月25日発行
令和6年度4月号

陽気とともに

校長 段原 修司

今年の浜下りは潮も天候もよく、多くの方々が浜に出られていたようですね。それから2週間が経ちました。夏がそこまで来ているような温かい4月の下旬です。今年から始業式の翌日へと日をずらした入学式で、新一年生 23 名を迎えました。静かに話を聞き、おめでとうございますのことに「ありがとうございます」の返事を返すその姿がとても立派でした。4月の様々な年中行事が滞りなく進んでいます。

校庭や学校周辺に目をやると、動植物の動きが活発になっていることに気がきます。学校敷地内のビオラの葉にはツマグロヒョウモン(蝶)が卵を産み付けています。

なかには既に幼虫となった姿も見られ始めました。正門付近に巣をもつツバメは、今年も戻ってきました。餌となる虫も増えてくる時期だからでしょう。正門近くの電線には二羽の鳩が留まっていました。つがいでしょうか、平行に走る三本の電線を行ったり来たりじゃれ合っている微笑ましい様子も見られました。陽気とともに生命の躍動を感じます。何かが始まるのにちょうどよい季節であることを示しているかのようです。

新学期の始まりです。校内では、一つずつ進級し、新担任と築く学級の雰囲気の中で、子供たちは期待感と緊張感をもって授業に臨んでいるように見えます。授業は、学力を身に付けるためだけではなく、「協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、・・・」など、非認知能力を育てることも大きな役割であり、子供たちにとっての居場所づくり、絆づくりの場でもあります。授業を中心とした「誠 負けじ 学び」を具現化する教育を旨としていくことを本年度も本校の目標として取り組みたい

と、気持ちを引き締めるところです。学校、家庭、地域が力を合わせて子供たちを見守る茶花であるよう、どうかお力添えください。また、充実した教育活動を展開するために、職員が適正な勤務時間において意欲と能力を最大限に発揮できるよう、業務改善の取組を今後も進める必要があることを御理解ください。なお、秋季大運動会につきましては、練習期間の猛烈な暑さを避けるために10月末に行うこととしております。今年度もよろしくお願いいたします。

☆令和6年度スタート☆

4月8日(月)、令和6年度の新学年がスタートし、子供たちの元気な声が、学校に戻ってきました。「どんな先生たちが来たのだろうか?」「担任の先生は誰だろうか?」「友達とまた遊べるぞ!」様々な思いを胸に、子供たちは、わくわくドキドキしながら登校してきました。その瞳は、キラキラに輝き、やる気に満ちていました。

新しく6人の子供たちも転入し、さあ出発です!ピカピカの1年生を含めた児童145人と、新たな気持ちで意気込む職員18人とで、今年度も力強く頑張っていきます。地域、保護者の皆様よろしく願い致します。

☆4月9日(火)入学式☆

23人のかわいい子供たちが、茶花小に入学してきました。緊張したり、少し照れたりしながら、アーチをくぐり入場。また、一人一人名前を呼ばれ、ドキドキしながらも元気のある返事をしていました。



子供たちは、これから茶花小学校で、6年間豊かな心とたくましい体づくり、そしてたくさんのお勉強に取り組んでいきます。うれしいこと、感動すること、時には、失敗をして涙を流すこともあるかもしれません。どうぞ温かなまなざしで見守りください。

☆ニグェーシャービュンドーの会☆

いつも登下校を見守ってくださるペーヌハディヤ北長寿会、スクールガードリーダーの遠山さんに御来校いただき、子供たちと顔合わせを行いました。

今年もよろしくお願いいたします!!



